

平成20年度 活動報告(自己評価)

香川県立多度津工業高等学校・香川県立多度津高等学校

学 校 教 育 計 画

教育方針	(1)自ら学び、考え、行動する意欲や能力を育てる。 (2)夢や理想に向かってチャレンジする精神や態度を育てる。 (3)自然との共生について認識を育てるとともに、伝統文化を理解し尊重する豊かな知性や教養を育てる。			(4)社会の担い手としての、望ましい勤労観・職業観や社会奉仕の精神を育てる。 (5)ひとり一人の個性を磨き、豊かな道徳性やたくましい精神力・体力を育てる。 (評価:目標達成率:80%以上達成 50%未満× その他)				
	前年度の成果と課題		本年度の重点目標		具体的目標		全体評価	
<p>・日頃から部活動等学校教育を通して生徒の指導が行えていることと好景気と少子化の影響で就職・進学共に好成績を収めた。 ・基礎学力の定着と専門性の育成に努めた。 ・公開展での発表を通してものづくりの専門性を培った。さらなる情報発信の充実を目指す。</p>		<p>・多工の伝統を継承した指導体制を推進する。 ・望ましいTAKOU生を育成する。 ・地域との連携も含め、TAKOUかわら版、ホームページ等を利用した地域へ情報発信を充実させる。 ・本年度設置される専攻科の体制を整える。 ・職員の規範意識の高揚と授業内容の充実をはかる。</p>		<p>・教育課程・特別活動・生徒指導の充実 ・基礎学力の向上と部活動の入部率を向上させ人材の育成を図る。 ・資格取得を奨励し、評価項目を結果の分かる数値表現で表す。 ・現職教育や授業公開の充実実施。 ・現職教育や授業公開の充実実施。</p>		○		
評価項目	本年度の主な活動目標		主な具体的方策		評価	次年度の主な課題		
教科指導	普通科	国語	文章から要旨を的確に読み取る能力の育成	辞典を多用し、読み取る姿勢の育成		内容を正確に読み取り的確にまとめ、自分の意見を表現できるようにする		
		地歴	高校生として必要な基礎知識の定着	授業・定期考査等を通して基礎知識の定着		社会人として必要な基礎知識の定着を図る		
		数学	論理的思考力および表現力の育成	提出物の徹底とノート、課題の添削指導の実施		課題等提出物の徹底と添削指導の充実を図る		
		理科	科学的な自然観と将来の進路に必要な学力の育成	教材の精選と指導内容の充実深化		効果的な実験や実習の回数を増やす		
		保健	生活を通じ継続的に運動ができる能力の育成	できる喜びを理解させ基礎体力の向上		選択種目を増やし、技能や体力のレベルアップを図る		
		芸術	書道	基礎基本を重視した学習活動をめざし臨書から創作への発展	基本定な知識と硬筆・毛筆の執筆法の徹底を図る		臨書指導を更に徹底し、定着が不十分な生徒により具体的な説明を伴った指導	
			美術	美的直感力、創造的発想力、構想力を育てるデッサン力を高め	生徒の能力に応じて課題の設定に幅を持たせる		題材をクラスの状況に合わせてながら臨機応変に対応できるよう努める	
	英語	文法を中心とした基礎学力の育成	提出物、宿題等のチェックをより頻繁に実施		提出物を多くし、基礎学力の定着を図る			
	家庭	家庭生活に必要な基礎的・基本的事項の定着をめざす	最新の資料や機器を活用し、授業の充実		指導内容を精選し、基礎基本の定着を図る			
	専門科	機械	生徒の能力を引き出す指導法の確立	授業評価を参考にし適した指導方法の確立		ものづくりを通じた、体験型学習の充実と内容の精選		
		電気	基礎基本の指導に力を入れ、より資格取得の充実	インターンシップを通じた職業観の育成と資格取得の奨励		基礎学力の定着と専門への指導および資格取得の奨励		
		土木	基礎学力の向上と実践的な指導	授業で最新の技術を紹介し、確実な学力保証を行う		基礎学力の定着と実践的指導		
		建築	自主性を育て基礎・基本の定着を図る	各種のテストで事前に各自の目標の設定		標準テストおよび各種テストに対し目標を設定する		
		技術	水産や海洋に関する実践により、健全な人材の育成	わかる授業により学習への興味と学力の定着		基本的生活習慣の確立を図り、基礎学力の向上をめざす		
生産	水産に関して興味関心を持ち意欲的な態度の育成	資格取得を推進し、学習の定着を図る		学習の定着を図るため全員資格取得に挑戦				
学校行事	水産科の行事の増加による全体行事の精選	主に香川丸による水産科の行事について検討		香川丸の実習を組込み、学校行事の全体的な見直しを図る				
生徒指導	保護者と一体となった指導体制の継続整備	指導方針に関し保護者と教職員の共通理解を図る		保護者との連携を図り、規律ある学校生活を指導する				
	交通安全教育活動を通じて、豊かな心を育成	講演会や実技指導を通して安全教育を実施		登下校時の立ち番指導や継続的な交通安全教育を推進する				
進路指導	適性に応じたきめ細かな進路指導の実施	学年団、特に3年団およびクラス間の連携の充実		長期的な見通しを立てた進路開拓をする				
	進学希望者に対しきめ細かな指導の充実	進学希望者に対してきめ細かな指導の実施		学力を把握し、実力テストをバロメータに学力向上を図る				
人権・同和教育	人権問題について行動化につながる啓発活動の実施	保護者や現職教育で生活に根ざした啓発活動を実施		様々な人権問題について積極的な啓発活動を行う				
保健指導	健康診断の充実と事後管理の徹底	生徒の増加のため未治療者の確認と指導の徹底		健康診断の充実と事後管理の徹底				
特活	部活動	生徒数の増加による部活動の活性化	入部率94%を上回るよう指導		保護者、担任、科にも指導を依頼し入部率の向上を図る			
	生徒会	生徒に主体性を持たせ、活動の活性化	生徒企画が100%となるよう活性化を図る		生徒一人ひとりに自覚を持たせ、組織を活性化する			
安全管理	施設設備と防犯等で学校の安全管理の見直し	定期の施設の巡回と情報ガイドラインの作成		情報のガイドラインの作成とセキュリティ研修の充実				
情報発信	各種メディアを利用した更なる情報発信に努める	地元広報誌やTAKOUかわら版、Webを継続的に活用		メール配信が始まり、より活動状況の判る情報発信に努める				